



# ちしゅう

2022年度 学校だより  
令和4年1月14日  
千歳小学校 臨時号

歴史と伝統 未来へつなぐ

私たちは 誇り高い  
千歳小学校の子どもです

か し こ く  
や さ し く  
た く ま し く

学ぼう  
つなごう  
やりぬごう



千歳小 HP/URL…<https://chitose-edu.jp/chitose-e/>

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆さまには、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、千歳市の結果公表と合わせ、その概要をお知らせいたします。

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の改善を図るとともに、学校における学習指導に役立てることを目的としております。本校では今回の調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んで参ります。

### I. 教科に関する調査結果

全国平均以上

全国平均以下

#### 国語

⇒ 全国の平均正答率と比較して同様という結果でした。

#### ①学習指導要領の内容別の結果

##### 話すこと・聞くこと

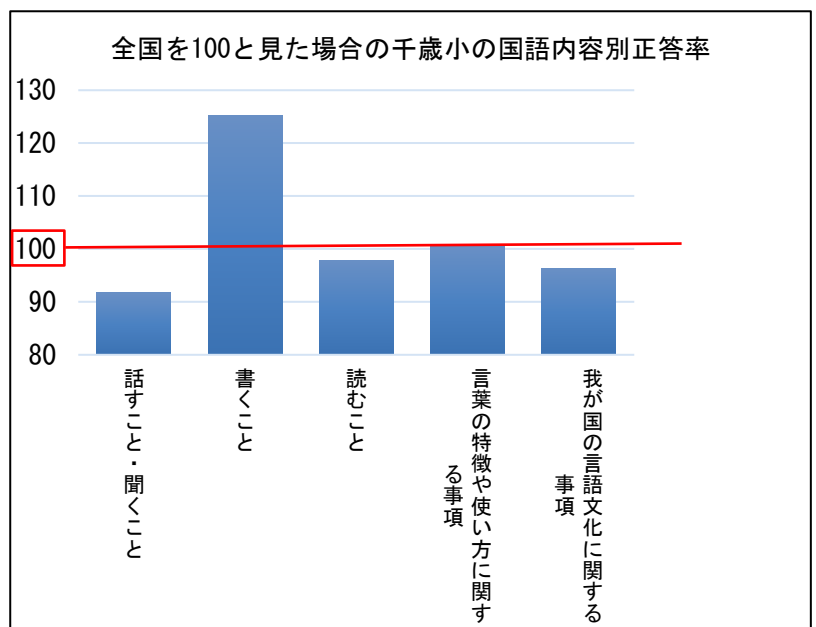
この領域の問題は2問で、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える問題が出題されましたが、本校の子どもたちの正答率は、全国より相当低いという結果でした。一方、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題は全国を上回っており、よくできていました。⇒次頁 **1** 参照

##### 書くこと

この領域の問題は2問で、正答率はいずれも全国より相当高いという結果でした。文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えるがしっかり身に付いています。⇒次頁 **3** 参照

##### 読むこと

この領域の問題は4問で、正答率は全国とほぼ同様（下位）でした。人物像や物語の全体像を具体的に想像する問題や、表現の効果を考える問題で課題が見られました。



## 言葉の特徴や使い方に関する事項

この領域の問題は5問で、正答率は全国と同様という結果でした。話し言葉と書き言葉との違いを理解する力や漢字を文の中で正しく使う力は、ある程度身に付いてきています。しかし、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える力に課題が見られました。

## 我が国の言語文化に関する事項

この領域の問題は1問で、正答率は全国とほぼ同様（下位）でした。漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く力に課題が見られました。

1

岡さんの学級では、地域のためにできることについて話し合うことになりました。岡さんのグループでは、学校の近くにある公園をきれいにするについて話し合っています。次は、そのときの「話し合いの様子の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

岡さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにするので、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているのですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くとき、おかしなふくろやペットボトルがいつも落ちてくるのが気になります。そこで、ごみを拾うきがあるといいと思います。ア「きれい」というのは、ロボットのことではなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐにできるのでいいと思います。でも、続けることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんのお花を植えれば、はなやかな感じになるといいと思います。

谷原さん イ確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しくそうですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん 私は、公園の遊具のベンキをぬり直したいと思っています。

中村さん ウ どうして、公園の遊具のベンキをぬり直すことが必要なのでしょう。

前田さん 公園のすべり台やジャングルジムは、できてから時間がたっていて、どれも暗い感じがします。そこで、自分たちだけでできるかどうかは気になりますが、明るい感じにするために赤色や黄色のベンキで、ぜひぬり直したいと思っています。

中村さん エ なるほど、いいアイデアですね。ベンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるといいですね。

岡さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて（メモ）してみました。

|       |   |
|-------|---|
| アイデア  | ○よい点 △問題点                                     |
| ごみ拾い  | ○ごみがなくなる                                      |
| 花植え   | ○はなやかに<br>△はなやかに<br>△世話を続けることがむずかしい<br>○明るくなる |
| ベンキぬり | △できるかどうかは分からない                                |

岡さん みなさんのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、私は、

（話し合いが続く）

三 「話し合いの様子の一部」で、中村さんが前田さんの発言に対して、部ウのように質問し、知れたかったこととはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ベンキをぬり直すことが、公園の遊具で遊べることに つながる理由
- 2 ベンキをぬり直すことが、自分たちではできないことにつながる理由
- 3 ベンキをぬり直すことが、公園をきれいにするにつながる理由
- 4 ベンキをぬり直すことが、ごみのない公園になるにつながる理由

話すこと・聞くこと

正答率 64.3%  
無解答率 0%

正答 3

書くこと

正答率 85.7%  
無解答率 0%

正答 1

3

鳥谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことになりました。次は、鳥谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができていく学級の様子をろうがし、各学級にしようかいたという活動がすばらしいと思います。

この話を聞き、五年生の時にさっぱり委員会で行った活動がふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人も楽しむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができていく学級の様子をアろうがして、各学級にしようかいたそうじです。

この話を聞き、五年生の時にさっぱり委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせしました。

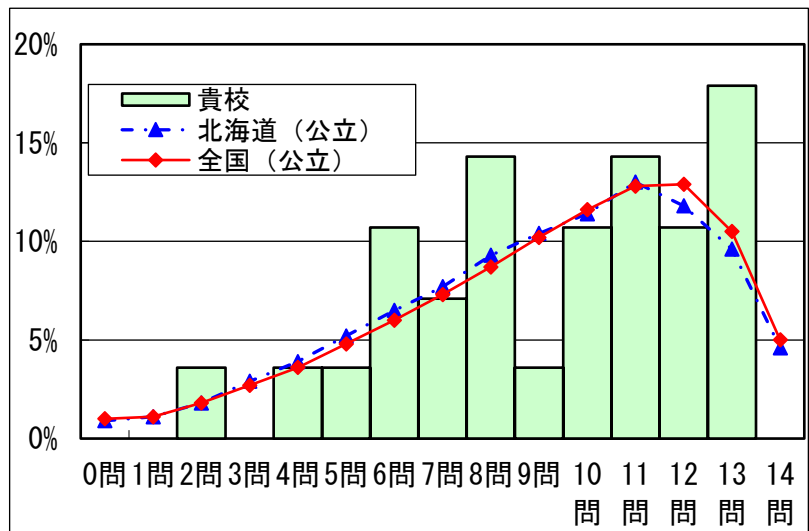
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もウしたじむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたいです。

一 鳥谷さんは、【文章2】のの部分をもとに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
- 2 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。
- 3 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。
- 4 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

## ②正答数の分布

正答数が2問の児童の割合は全国より高くなっていますが、5問以下の割合は全国より低くなっています。一方、正答数が14問の児童はいませんでしたが、12問以上の児童の割合は、全国をやや上回っており、いわゆる下位層が少なく上位層が多い状況が見られます。



## ★学校ではこのような指導をします★

- 話す学習では、それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動に取り組みせ、相手や目的を意識して話の中心を明らかにし、事実と感想・意見とを区別するなど話の構成を工夫することができる力を身に付けさせていきます。
- 書く学習では、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける力を伸ばすことができるように指導していきます。
- 読む学習では、詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動に取り組みせ、複数の叙述を基に、登場人物の気持ちや相互関係を捉え、物語全体から伝わってくることを考える力を身に付けさせていきます。
- 漢字の学習では、自分が書いた文章を読み返す中で、正しい使い方を習得できるようにするなど、日常の活動の中で適切に使うことができるように指導していきます。また、漢字を使って文や文章を書く機会を多く設定していきます。

## 算 数

⇒ 全国の平均正答率と比較して同様という結果でした。

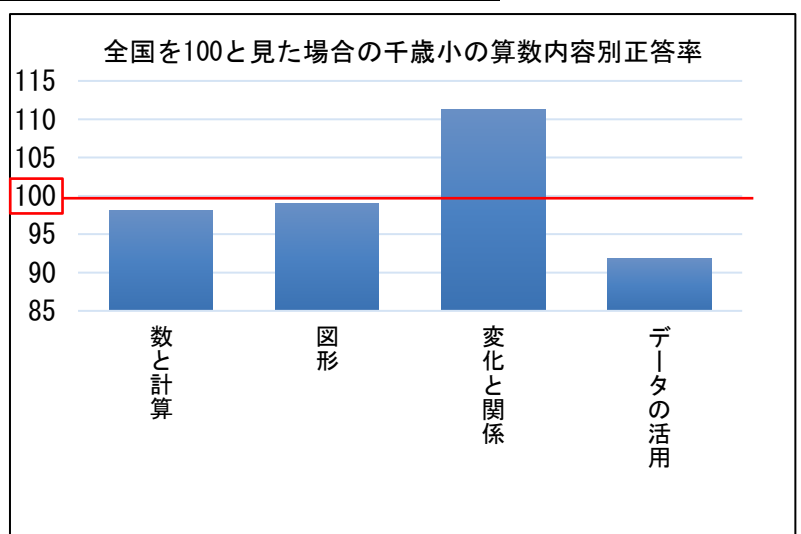
### ①学習指導要領の領域別の結果

#### 数と計算

この領域の問題は6問で、正答率は全国とほぼ同様（下位）という結果でした。加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述する問題に課題が見られました。一方、示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する問題は、よくできていました。

#### 図形

この領域の問題は4問で、正答率は全国と同様でした。示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断する問題がよくできていました。




## 変化と関係

この領域の問題は4問で、正答率は全国より高いという結果でした。百分率で表された割合と基準量から比較量を求める力や、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する力がしっかり身に付いていることがわかりました。

**2**

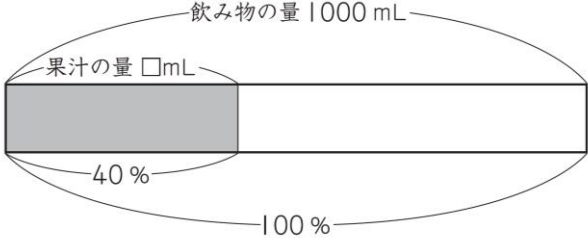
果汁入りの飲み物について考えます。

(2) オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。  
この飲み物1000 mLには、果汁が何 mL 入っていますか。  
答えを書きましょう。



**正答率 32.1%**  
**無解答率 0%**

**正答 400**



飲み物の量 1000 mL

果汁の量 □ mL

40%

100%

## データの活用

この領域の問題は3問で、正答率は全国より低いという結果でした。特に、分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する問題で課題が見られました。一方、目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る問題は、全国の平均正答率を上回り、よくできていました。

**3**

6年生のまなみさんの学級では、みんながもっと仲良くなるために、お楽しみ会をすることにしました。


(2) お楽しみ会のアンケート調査の結果から、2つの遊びを決めます。

**正答率 53.6%**  
**無解答率 0%**


**正答 2と4**

一人一人が選んだ遊び


|    | 選んだ遊び |      |
|----|-------|------|
| 1  | ビンゴ   | クイズ  |
| 2  | ビンゴ   | クイズ  |
| 3  | ビンゴ   | クイズ  |
| 4  | ビンゴ   | クイズ  |
| 5  | ビンゴ   | クイズ  |
| 6  | ビンゴ   | クイズ  |
| 7  | ビンゴ   | クイズ  |
| 8  | ビンゴ   | クイズ  |
| 9  | ビンゴ   | クイズ  |
| 10 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 11 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 12 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 13 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 14 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 15 | ビンゴ   | しりとり |
| 16 | ビンゴ   | しりとり |
| 17 | ビンゴ   | しりとり |
| 18 | クイズ   | 宝探し  |
| 19 | クイズ   | 宝探し  |
| 20 | クイズ   | 宝探し  |
| 21 | クイズ   | 宝探し  |
| 22 | 宝探し   | しりとり |
| 23 | 宝探し   | しりとり |
| 24 | 宝探し   | しりとり |




選んだ人がいちばん多いビンゴと、その次に多いクイズに決めたらどうでしょうか。



選んだ人がいちばん多いビンゴをもとに、アンケート調査の結果を整理しました。一人一人が選んだ遊びを見てください。ビンゴとクイズに決めると、22番から24番の3人の希望が1つも通らないことになります。



ビンゴとクイズに決めてしまうと、全員の希望が通ったことにはならないですね。



24人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができますよ。

今回のアンケート調査の結果では、24人全員の希望が1つは通るよう  
に、2つの遊びを決めることができます。

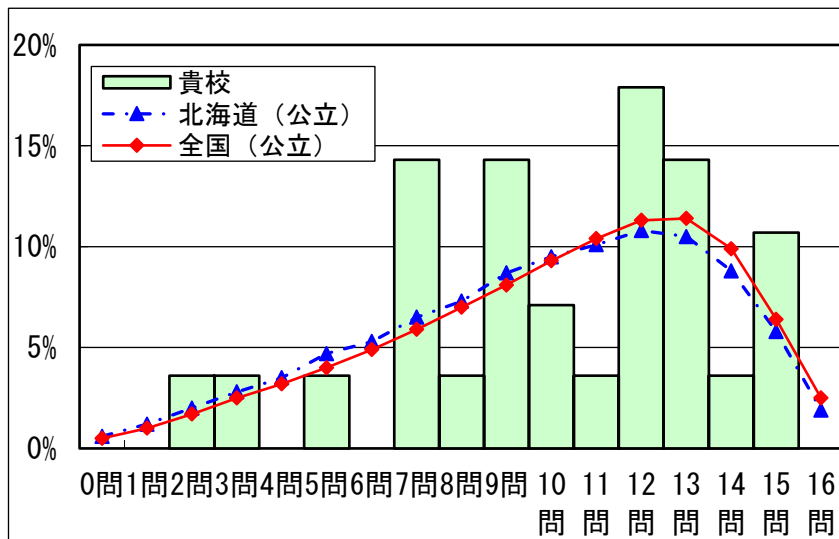
その2つの遊びは、どれとどれですか。右の一人一人が選んだ遊びを見  
て、下の **1** から **4** までの中から**2つ**選んで、その番号を書きましょう。

- 1** クイズ
- 2** 宝探し
- 3** しりとり
- 4** ビンゴ



## ②正答数の分布

正答数が2問・3問の児童の割合は全国より高くなっていますが、6問以下の割合は全国より低くなっています。一方、正答数が12問以上の児童の割合は、全国を上回っており、いわゆる下位層が少なく上位層が多い状況が見られます。



## ★学校ではこのような指導をします★

- 計算の学習では、言葉や式を使って説明する場面を多く取り入れながら、四則の混合した式や( )を用いた式について理解し、正しく計算する力や、問題場面の数量の關係に着目して式に表したり、式の意味を読み取ったりする力を高めていきます。
- 図形の学習では、実際に描く活動を多く取り入れながら、図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質について理解したり、図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方について考察したりすることができる力を身に付けさせていきます。
- 変化と關係の学習では、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の關係を表したりする活動を取り入れながら、基準量、比較量、割合の關係や、伴って変わる二つの數量の關係について考察することができる力を身に付けさせていきます。
- データの活用の学習では、日常生活の事象について、目的に応じて必要なデータを収集し、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して考察する場面を取り入れることで、表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉えて考察できる力を身に付けさせていきます。
- 習熟度別指導による指導や学習支援員の活用、重点単元を指定して学習する等、個々の力を伸ばすように取り組みます。

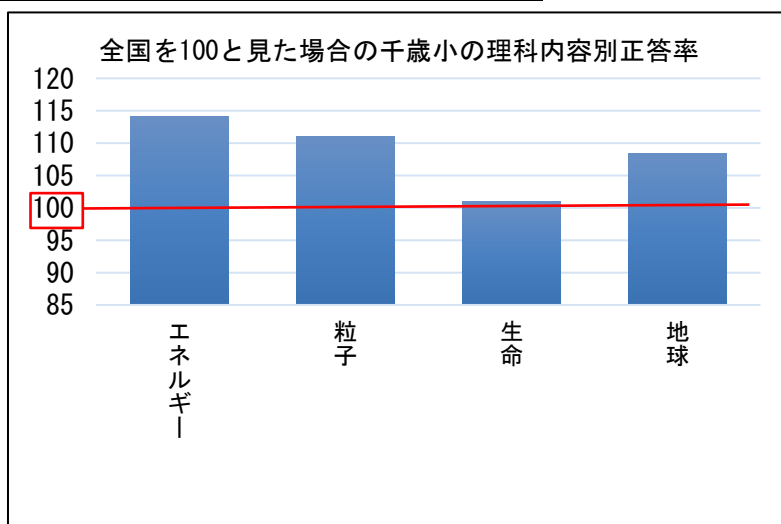
## 理 科

⇒ **全国の平均正答率と比較してやや高いという結果でした。**

### ①学習指導要領の区分・領域別の結果

#### エネルギー

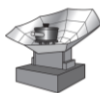
この領域の問題は4問で、正答率は全国より相当高いという結果でした。特に、自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつ力が全国と比べて身に付いていることがわかりました。



3 次に、たかしさんたちは、日光をはね返して調理する動画を見て、  
先生とやってみることにしました。



調理に使うなべは、黒色がよいと書いてあるよ。黒色があたたまりやすいのかな。



ほかの色も試してみたいね。赤色はどうなのかな。



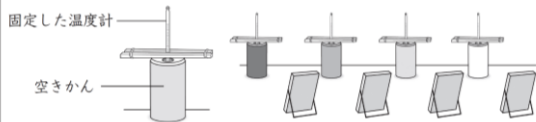
色をつけた空きかんに水を入れて、温度をはかる。  
【問題】が見つかったね。

【問題】

はね返した日光を水の入ったかんにあてると、何色のかんの水の温度が最も高くなるのか。

たかしさんたちは、次のような実験をしました。

【方法】



- ① 同じ種類、同じ大きさの空きかんに色をぬる。(黒色、赤色、青色、白色)
- ② それぞれの空きかんに、同じ量の水を入れ、温度計をとりつける。
- ③ はね返した日光をかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの中の水の温度をはかる。

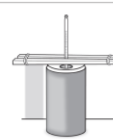
正答率 32.1%  
無解答率 0%

正答 鏡の向きか、  
かんの位置

(3) 10分後、かんのようすを見ると、はね返した日光の位置がずれていることに気づきました。



はね返した日光がかんにあたっていないと、正しい実験にならないね。



鏡にさわっていないのに、はね返した日光の位置がずれるということは、太陽の位置が変化しているんだ。実験の【方法】を見直さないといけないね。



たかしさんたちは、実験の【方法】を見直して、手順④を加えました。下の  にあてはまることばを書きましょう。

【方法】

- ③ はね返した日光をかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの中の水の温度をはかる。
- ④ なお、太陽の位置の変化に合わせて、はね返した日光がかんにあたるように、 を変える。

## 粒子

この領域の問題は5問で、正答率は全国より高いという結果でした。特に、メスシリンダーという器具とその正しい使い方についての問題がよくできていました。

## 生命

この領域の問題は5問で、正答率は全国と同様という結果でした。昆虫の体のつくりについての問題に課題が見られました。一方で、自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する力が身に付いていることがわかりました。

正答率 53.6%  
無解答率 0%

正答 2

## 地球

この領域の問題は5問で、正答率は全国よりやや高いという結果でした。特に、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ力が身に付いていることがわかりました。

1

ひろしさんたちは、ナナホシテントウのたまごを見つけました。ひろしさんは、次のような【問題】を解決するために、ナナホシテントウを飼育しながら観察し、ようすが変化したときに、タブレット型たん床に記録していくことにしました。

(3) みどりさんは、ナナホシテントウがこん虫であることを説明しようとしています。こん虫であることを体のつくりから説明するために、どのような写真が必要ですか。下の 1 から 4 までの中から最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

1

上から



2

下から



3

前から



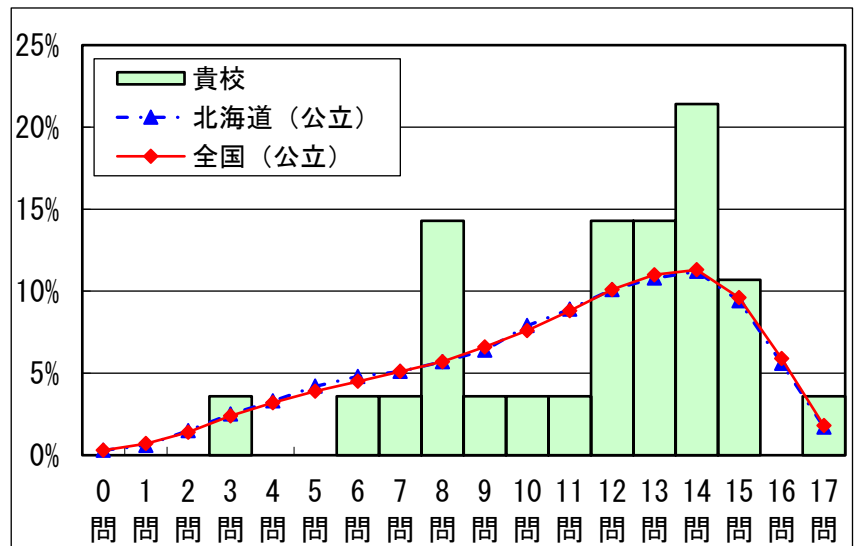
4

横から



## ②正答数の分布

正答数が3問の児童の割合は全国より高くなっていますが、7問以下の割合は全国より低くなっています。一方、正答数が14問以上の児童の割合は、全国を上回っており、いわゆる下位層が少なく上位層が多い状況が見られます。



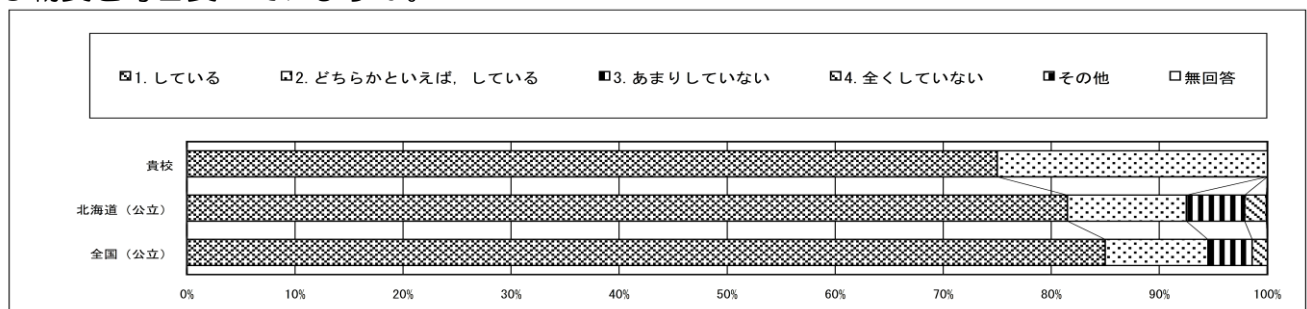
## ★学校ではこのような指導をします★

- エネルギーの学習では、光と音の性質について、光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出したときの震え方に着目して、光の強さや音の大きさを変えたときの違いを比較しながら調べる活動を通して、観察、実験などに関する技能を身に付けさせていきます。
- 粒子の学習では、物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる活動を通して、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことなどを理解できるように指導を工夫していきます。
- 生命の学習では、記録の整理の仕方を工夫して、互いの結果を比較しやすくしたり、意見交換の場を設定したりすることを通して、様々な視点から自分の考えを柔軟に見直し、その妥当性を検討できるように指導していきます。
- 地球の学習では、根拠のある予想や仮説を発想するだけでなく、自分の考えとは異なる友だちの予想も捉え、予想が確かめられた場合に得られる実験の結果を見通して解決の方法を発想し、観察・実験などを行うことの重要性について理解できるように指導していきます。

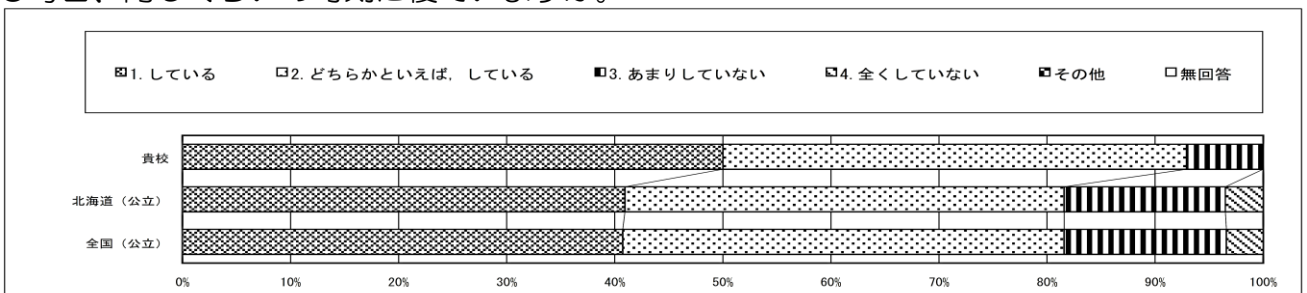
## II. 学習状況調査 (児童質問紙) から

### 生活規律

○朝食を毎日食べていますか。



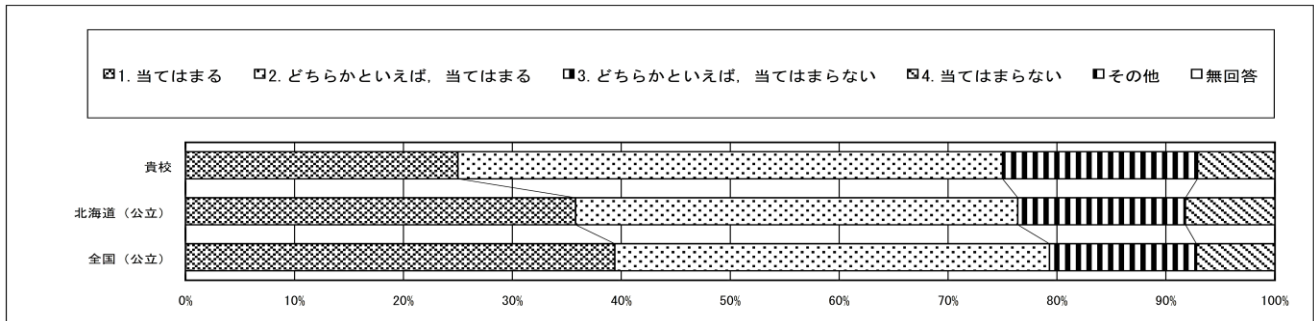
○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



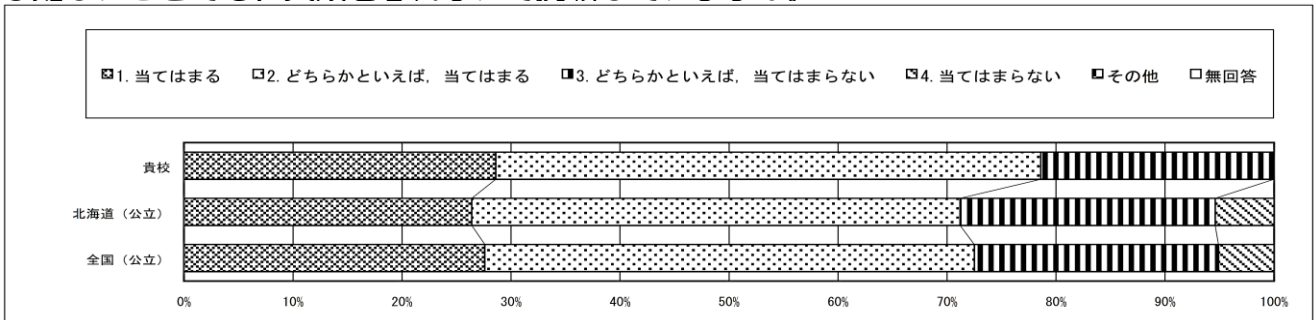
朝食を毎日食べている児童は75.0%(昨年度78.4%)、毎日同じくらいの時刻に寝ている児童は50.0%(昨年度48.6%)でした。また、「全くしていない」と回答した児童が、朝食は0%(昨年度0%)、寝る時刻も0%(昨年度は0%)でした。昨年度と比べると寝る時刻について改善が見られますが、朝食については昨年度・全国の調査結果と比べてやや低い結果となっています。保護者の皆さまには、今後も「早寝・早起き・朝ごはん」へのご協力をお願いします。

## 自己肯定感

○自分には、よいところがあると思いますか。



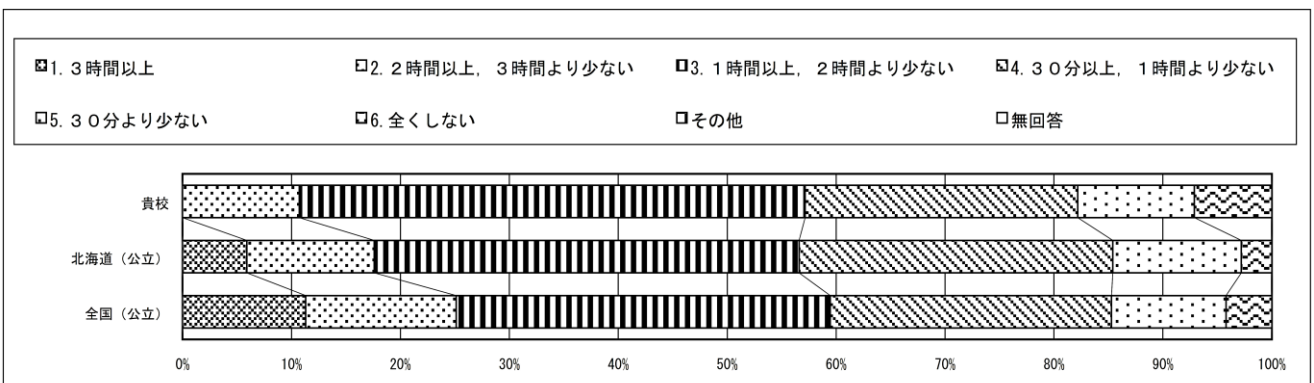
○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。



「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童は25.0%(昨年度21.6%)、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」と回答した児童は28.6%(昨年度35.1%)でした。「自分にはよいところがある」という設問の結果は、昨年度の結果と比べて向上しましたが、全国の結果と比べると低くなっています。学校行事や児童会活動などを通じて子どもたち同士の結びつきを強め、周りから認められる機会を多くする取組を重視していきます。

## 学習習慣

○学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)



本校では、平日の学習時間を「学年×10分+10分以上」を指標としています。6年生は70分以上が目標となりますが、達成している児童は57.1%(昨年度67.5%)でした。全国の調査結果や昨年度の結果と比べて低い結果となっており、今後も保護者の方と連携しながら家庭での学習習慣定着に向けた働きかけを行っていきます。